

<h1 style="font-size: 2em; margin: 0;">巣子駅</h1> <p style="font-size: 1.5em; margin: 0;">だより</p>	<b>第 34 号</b> <b>平成 22 年 1 月号</b>
	たきざわマイレールサークル <b>巣子駅会</b>
	(019) 694-9622
	編集責任者 山口 匡市

## あけましておめでとうございます



日本晴れの朝 巣子駅から望む岩手山の雄姿

命努力を継続し、皆様に快く利用していただける駅、活性のある駅となるよう心がけて参りますので引き続きのご支援よろしくお願ひ申し上げます。

### 『雪原通路』づくりの考えで… 駅前広場の積雪対応奮闘記

当駅では、ご利用のお客様が待合室を快く通過・集散できるよう日頃から懸命に努力していますが、冬期の積雪対応については駅前広場の面積が相当に広いのと、一人勤務駅ということでもかなり難儀な事柄になっているのは事実です。

それでも、これまでの4シーズンは地元にお住まいの佐々木様が全くの**損得抜き**で**毎シーズン**積雪が1cmであろうが、5cmであろうが40cmであろうが欠かさず出動…これに非番の駅員が呼応してのボランティアで対応して参りました。

これほどの面積では、『除雪』イコール『機械力』に考えが走りがちですが、駐車場やロータリーではその考えで良いとして、巣子駅の場合、待合室付近の広場は柱が多く、除雪車は小型でも進入は不可能です。

しかも、この雪は必ずしもすべて除去し処分を必要とするものではなく、待合室玄関を基点の『扇の骨』状の『通路』があれば良いのです。 **手作業**で、雪が**軽いうち**に、あるいは**軟らかいうち**に行うのが一番効率的で、後刻のお客様の通行に支障の無い環境が確保できます。『除雪』という重圧イメージでなく、『通路づくり』という



奮闘中の佐々木さん

感覚でやっています。

駅を利用する大半のお客様は、我々がボランティアでやっているのを良く知っていてくださり、労いの言葉をかけてくれ、これを心の糧にがんばっています。

### 火の用心 マッチ一本火事のもと!!

火災の発生しやすいシーズンに向け、巣子保育園幼年消防クラブ作成の防災ポスターが届けられ、待合室に掲示されてもらいました。



今年は、例年の園児たちの訪問による『呼びかけ』（全員連呼）は諸般の事情（新型インフル対応等）で行われませんでした。

皆様には、ご家族お揃いで新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

日頃は何かとお引き立てを賜り厚く御礼を申し上げます。当巣子駅は、平成18年3月開業以来3年9ヵ月を経過しました。

おかげさまで、乗降客数も右肩上がりの上昇で、朝夕のラッシュアワーのホームの混雑ぶりは、本誌32号の写真でご紹介のとおりです。

秋口の県南部の濃霧の影響による徐行運転では、しばしばの「遅れ」でご迷惑をおかけしましたが、皆様の格別のご理解とご協力で乗り切ることができました。

私ども、駅員、関係者一同今後とも一生懸命

### 滝沢東小学校 美化栽培委員会様より 今冬もビオラの寄贈がありました。

『きれいな花ときれいな駅をいつまでも』をモットーに、滝沢東小学校 美化栽培委員会様より今年もビオラの生育鉢5個の寄贈がありました。

贈呈式では…「美化栽培委員会です。駅を利用している方々や、ここで働いている人達の心の癒しになれば嬉しいです。」…のメッセージもありました。

今冬は、待合室には売店ができたこともあって、下り線ホームに並べての管理として見ました。

午前中は、結構日当たりも良く、寒さにはめっぽう強い花なのでだいじょうぶと思います。

むしろ、これまでの風通しの良くない場所でのウドンコ病の発生の心配が少なくなって、「結果オーライ」になるかも…

